

主食用米の事前契約（播種前契約）の状況

- 6年産の仕入計画数量に占める播種前契約（複数年契約を含む）の割合は31%。
- 6年産の仕入計画数量に占める実需者と結びついた播種前契約の割合は3%。

○ 播種前契約の状況

年産	仕入計画数量 ①	播種前契約数量 ②	うち実需者との結びつき (単位:千トン)		
			計 ③	中食・外食等 ④	小売 ⑤
			③	④	⑤
3年産	3,699	1,026 (28%)	184 (5%)	95 (3%)	89 (2%)
4年産	3,451	1,001 (29%)	108 (3%)	69 (2%)	40 (1%)
5年産	3,504	1,115 (32%)	127 (4%)	42 (1%)	85 (2%)
6年産	3,549	1,104 (31%)	123 (3%)	44 (1%)	79 (2%)

○ 近年の播種前契約の履行状況

令和4年産の播種前契約数量に占める販売数量（令和6年3月時点）の割合は98%

令和5年産の播種前契約数量に占める販売数量（令和6年3月時点）の割合は89%

注1：調査対象は、年間取扱数量500トン以上の集出荷業者。

2：仕入計画数量は、卸売業者や小売事業者等へ独自に販売を行う米穀の生産年の3月末時点の仕入（集荷）計画数量（見込含む）として調査。

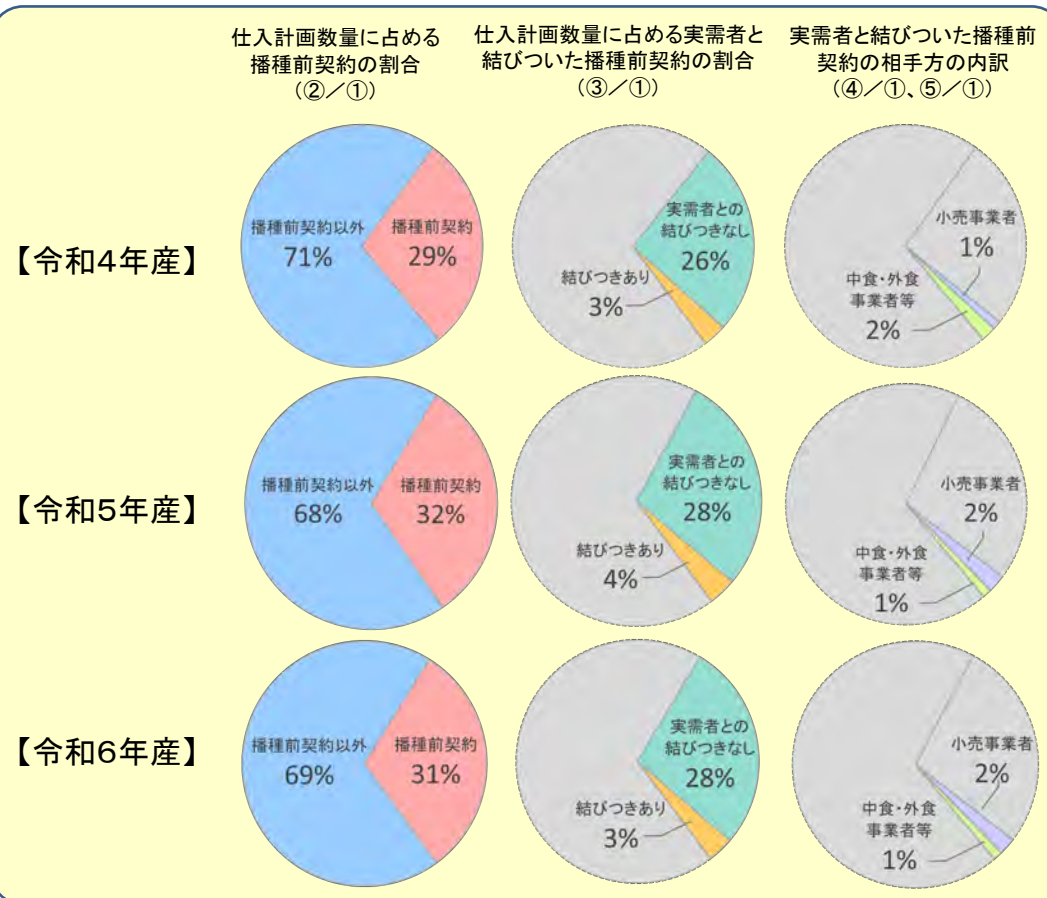
3：播種前契約数量は、生産年の3月末までに締結した事前契約（確認書等により販売数量が決定しているもの）の数量をいう。

4：中食・外食等は、小売以外の実需者（学校給食や事業所給食など）との契約を含む。

5：播種前契約数量に占める販売数量は、販売見込数量を含む。

6：ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

○ 近年の播種前契約の比率



需要に応じた販売について（低価格帯の需要への生産・販売の拡大）

【買い手の意向と産地の意向のミスマッチ】

用途に応じた米
生産が重要！

買い手の意向

一般家庭用
(高価格帯中心)
70%程度

中食・外食向け
(低価格帯中心)
30%程度

少しでも単価の高
い米を売りたい！

産地の意向

一般家庭用

需要に応じた
生産・販売へ

中食・外食向け

- 主食用米全体の需給は均衡している中、産地においては高価格帯中心の一般家庭用の米を生産する意向が強い。
- 一方、買い手においては、3割を占める低価格帯中心の中食・外食向けなどにも対応した米生産へのニーズがありここにミスマッチが生じている状況。



- 一般家庭用、中食・外食向け各々の需要に応じた生産・販売の取組を進める必要。

（それを行わない場合には、結局、国内主食用米需要全体の一層の減少につながる。）

－取組事例（A市B生産法人）－

- ・ A市はブランド米の産地であるが、B生産法人は中食・外食事業者からのニーズを受け、28年産から多収品種（あきだわら）の作付を開始。
- ・ 一般家庭用より3割多収を実現し、一般家庭用で得られる収入とほぼ同等の収入を確保。

中食・外食向け販売量の状況について①（中食・外食向け販売実態調査結果）

- 産地における中食・外食向けの需要に応じた生産・販売への取組を促すため、産地や銘柄ごとの中食・外食向けの販売割合順位等をマンスリーレポートで公表。
- 〔 令和4年7月から5年6月までの1年間において、年間玄米取扱量4,000トン以上の販売事業者が、精米販売を行った数量のうち、中食・外食向けに販売した数量について調査を実施。 〕

販売先割合の推移（全国）

	元/2年	2/3年	3/4年	4/5年
中食・外食向け	37%	37%	39%	39%
家庭内食向け等	63%	63%	61%	61%

注：家庭内食向け等は、精米販売量全体から中食・外食向け販売量を差し引いたものである。

中食・外食向けの販売割合が高い上位10県

元/2年			2/3年			3/4年			4/5年		
1	群馬	67%	1	群馬	75%	1	群馬	79%	1	福島	69%
2	岡山	65%	2	福島	68%	2	福島	69%	2	栃木	61%
3	福島	64%	3	栃木	58%	3	栃木	65%	3	群馬	58%
4	栃木	61%	4	岡山	57%	4	岡山	62%	4	石川	53%
5	山口	56%	5	愛知	53%	5	山形	50%	5	愛知	52%
6	熊本	53%	6	青森	50%	6	宮城	50%	6	宮城	51%
7	宮城	48%	7	山口	49%	7	埼玉	50%	7	山形	49%
8	青森	48%	8	岐阜	47%	8	青森	49%	8	岐阜	47%
9	山形	46%	9	宮城	47%	9	岐阜	48%	9	岩手	45%
10	岩手	44%	10	山形	44%	10	岩手	45%	10	青森	44%

注：中食・外食向け販売量が、1,000トン未満の都府県は除いている。

中食・外食向け販売量全体に占める産地品種銘柄別割合（上位20）

元/2年				2/3年				3/4年				4/5年			
	産地	品種銘柄	割合		産地	品種銘柄	割合		産地	品種銘柄	割合		産地	品種銘柄	割合
1	宮城	ひとめぼれ	6%	1	山形	はえぬき	7%	1	宮城	ひとめぼれ	7%	1	宮城	ひとめぼれ	6%
2	栃木	コシヒカリ	6%	2	宮城	ひとめぼれ	6%	2	山形	はえぬき	7%	2	山形	はえぬき	6%
3	山形	はえぬき	5%	3	青森	まつぐら	5%	3	青森	まつぐら	5%	3	栃木	コシヒカリ	5%
4	福島	コシヒカリ	5%	4	福島	コシヒカリ	5%	4	栃木	コシヒカリ	5%	4	岩手	ひとめぼれ	4%
5	青森	まつぐら	4%	5	栃木	コシヒカリ	5%	5	北海道	ななつぼし	5%	5	福島	コシヒカリ	4%
6	北海道	ななつぼし	4%	6	岩手	ひとめぼれ	4%	6	福島	コシヒカリ	5%	6	青森	まつぐら	4%
7	岩手	ひとめぼれ	4%	7	北海道	ななつぼし	4%	7	岩手	ひとめぼれ	4%	7	北海道	ななつぼし	4%
8	新潟	コシヒカリ	3%	8	新潟	コシヒカリ	3%	8	新潟	コシヒカリ	4%	8	新潟	コシヒカリ	4%
9	茨城	コシヒカリ	3%	9	茨城	コシヒカリ	3%	9	茨城	コシヒカリ	3%	9	茨城	コシヒカリ	3%
10	北海道	ゆめぴりか	2%	10	秋田	あきたこまち	3%	10	秋田	あきたこまち	2%	10	秋田	あきたこまち	3%
11	福島	ひとめぼれ	2%	11	福島	ひとめぼれ	2%	11	北海道	ゆめぴりか	2%	11	北海道	ゆめぴりか	2%
12	秋田	あきたこまち	2%	12	北海道	ゆめぴりか	2%	12	新潟	こしいぶき	2%	12	新潟	こしいぶき	2%
13	長野	コシヒカリ	2%	13	長野	コシヒカリ	2%	13	福島	ひとめぼれ	2%	13	富山	コシヒカリ	2%
14	富山	コシヒカリ	1%	14	新潟	こしいぶき	1%	14	北海道	きらら397	2%	14	福島	ひとめぼれ	2%
15	北海道	きらら397	1%	15	富山	コシヒカリ	1%	15	富山	コシヒカリ	2%	15	北海道	きらら397	1%
16	栃木	あさひの夢	1%	16	北海道	きらら397	1%	16	栃木	とちぎの星	1%	16	長野	コシヒカリ	1%
17	新潟	こしいぶき	1%	17	福島	天のつぶ	1%	17	長野	コシヒカリ	1%	17	石川	コシヒカリ	1%
18	千葉	コシヒカリ	1%	18	栃木	あさひの夢	1%	18	福島	天のつぶ	1%	18	栃木	とちぎの星	1%
19	青森	つがるロマン	1%	19	愛知	あいちのかおり	1%	19	千葉	ふさこがね	1%	19	愛知	あいちのかおり	1%
20	福島	天のつぶ	1%	20	青森	つがるロマン	1%	20	栃木	あさひの夢	1%	20	千葉	コシヒカリ	1%

注：割合は、各産地品種銘柄ごとの中食・外食向け販売量を、全国の中食・外食向け販売量で除したものである。

<当データを見る上での留意事項>

- ▶ 調査対象は、年間玄米取扱数量4,000トン以上の販売事業者（卸売業者等）。
- ▶ 販売事業者が、中食・外食向けに精米販売した数量であり、小売店等に精米販売し、その後、中食・外食に仕向けられたものは含まれていない。
- ▶ 中食事業者は、コンビニエンスストア、スーパー、弁当屋、給食事業等であり、外食事業者は、牛丼、回転寿司等のファーストフード店、ファミリーレストラン、ホテル等宿泊施設等である。
- ▶ 中食・外食向けには、主に米販売業者から供給されるが、家庭内食向けには、米販売業者経由の他に農家直売や縁故米等からも供給されるため、米販売業者からの供給量のみで作成した当データは、中食・外食向けの割合が高くなる傾向がある。